

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）
〔PCT36条及びPCT規則70〕

REC'D 22 DEC 2005

WIPO

PCT

| | | |
|--|------------------------------------|---------------------------|
| 出願人又は代理人 の書類記号 PCT3938 | 今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。 | |
| 国際出願番号 PCT/JP2004/012615 | 国際出願日 (日.月.年) 25.08.2004 | 優先日 (日.月.年) 26.08.2003 |
| 国際特許分類(IPC) Int.Cl. G06K19/077, G06F1/16, H05K5/02 | | |
| 出願人(氏名又は名称) 松下電器産業株式会社 | | |

- この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
 - ☒ 附属書類は全部で 5 ページである。
 - ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙(PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)
 - ☐ 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
 - ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
(実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☒ 第VIII欄 国際出願に対する意見

| | | | |
|--|------------------------------|----|------|
| 国際予備審査の請求書を受理した日 11.04.2005 | 国際予備審査報告を作成した日 09.12.2005 | | |
| 名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区鍛冶が関三丁目4番3号 | 特許庁審査官(権限のある職員) 安島 智也 | 5E | 9741 |
| | 電話番号 03-3581-1101 内線 3521 | | |

様式PCT/IPEA/409(表紙)(2005年4月)

第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
☐ 国際調査 (PCT 規則 12.3(a) 及び 23.1(b))
☐ 国際公開 (PCT 規則 12.4(a))
☐ 国際予備審査 (PCT 規則 55.2(a) 又は 55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第 6 条 (PCT 14 条) の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1, 2, 4-10 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 3, 3/1 _____ ページ*, 11.04.2005 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*, _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 2-4 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*, PCT 19 条の規定に基づき補正されたもの
 第 1, 5, 6 _____ 項*, 11.04.2005 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*, _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-3 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*, _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*, _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT 規則 70.2(c))

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第Ⅴ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

| | | |
|----------------|-----------|---|
| 新規性 (N) | 請求の範囲 1-6 | 有 |
| | 請求の範囲 | 無 |
| 進歩性 (IS) | 請求の範囲 | 有 |
| | 請求の範囲 1-6 | 無 |
| 産業上の利用可能性 (IA) | 請求の範囲 1-6 | 有 |
| | 請求の範囲 | 無 |

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1: JP 02-286399 A (セイコーエプソン株式会社) 1990. 11. 26, 全文, 全図 (ファミリなし)

請求の範囲1にかかる発明は、国際調査報告で引用された文献1より進歩性を有しない。文献1の第1図の下方にみられる「金属板4 (器側)」(「板状部材」に相当)は、プラスチックフレーム (器側) の平板部の全体を覆っているが、全体を覆っているならば、当然、平板部の一部分も覆っていることになる。また、素子を集中して設けることや、プラスチックフレームの素子逃げ穴以外の部分に凹部を設けることは、設計的事項である。

請求の範囲2-6にかかる発明は、国際調査報告で引用された文献1より進歩性を有しない。これらの請求の範囲にかかる発明の構成に、文献1に対して、進歩性を推認しうる格段の構成はない。

第Ⅷ欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

請求の範囲 1 の記載は、次の理由から明瞭とは認められない。

- ・「孔部」を「平板部」に 1 つだけ形成したものも、請求の範囲 1 の技術範囲に含まれるが、1 つの「孔部」を「集中して形成する」という意味が不明確である。
- ・「凹部」の具体的役割が不明確である。
- ・「平板部」における「凹部」と「板状部材」の平面的位置関係（両者が重なることがあるか否かなど）が不明確である。
（すなわち、「平板部の一部分」と「平板部の所定範囲内」との関係が不明確である。）

板に部品高さが高い電子部品を実装したときにも、ラベル等を貼るための凹部を形成しつつカバーの強度を確保できるP Cカードを実現することを目的とする。

本発明は、電子部品が実装されたプリント基板と、前記プリント
5 基板を収納する主としてフレーム材と平板部からなる本体カバーと、
前記本体カバーに固定してプリント基板を蓋うカバー体と、前記電
子部品との干渉を回避すべく前記電子部品と対向する前記本体カ
バーの平板部の部分に形成された1つ以上の孔部と、本体カバーの
前記孔部を塞ぎ、本体カバーの平板部の一部分を覆うように固定可
10 能な1つ以上の板状部材とを具備し、前記本体カバーの平板部の所
定範囲内に前記孔部を集中して形成すると共に、前記所定の範囲外
においては凹部を形成し、前記板状部材の外側表面と前記本体カ
バーの外側表面とをほぼ同じ高さになるように構成すると共に前記
板状部材の厚さを本体カバーの平板部の厚さよりも薄くなるように
15 構成したものである。

本発明のP Cカードは、部品高さの高い電子部品に対向するカ
バーの表面部分は孔部が形成され、その孔部をカバーの厚みよりも
薄い板状部材で塞いでいるために、カバーの厚みを厚くして強度を
上げることができるとともに、より高さのある電子部品をプリント
20 基板上に実装することができ、信頼性高いP Cカードが実現できる
ことになる。

また、本発明は本体カバーの所定の範囲内に孔部を集中して形成
すると共に、孔部以外の範囲においてはカバーの外側に凹部を形成
したことにより、電子部品と干渉しない部分のカバー体及び本体カ
25 バー表面は凹部を形成できるので、ラベルやメモ等を貼るスペース

を実現できるという効果がある。

図面の簡単な説明

請求の範囲

1. (補正後) 電子部品が実装されたプリント基板と、
前記プリント基板を収納する主としてフレーム材と平板部からなる本体カバーと、
- 5 前記本体カバーに固定してプリント基板を蓋うカバー体と、
前記電子部品との干渉を回避すべく前記電子部品と対向する前記本体カバーの平板部の部分に形成された1つ以上の孔部と、
本体カバーの前記孔部を塞ぎ、本体カバーの平板部の一部分を覆うように固定可能な1つ以上の板状部材とを具備し、
- 10 前記本体カバーの平板部の所定範囲内に前記孔部を集中して形成すると共に、前記所定の範囲外においては凹部を形成し、
前記板状部材の外側表面と前記本体カバーの外側表面とをほぼ同じ高さになるように構成すると共に前記板状部材の厚さを本体カバーの平板部の厚さよりも薄くなるように構成したPCカード。
- 15 2. 本体カバーに被せる前記カバー体に、電子部品との干渉を回避する孔部を形成し、この孔部を板状部材で塞ぐ請求項1記載のPCカード。
3. 前記孔部周囲の本体カバー及びカバー体の外面に前記板状部材の厚さにほぼ等しい深さの段部を形成した請求項1又は2記載の
20 PCカード。
4. 前記本体カバーの平板部及びカバー体に形成した2つ以上の前記孔部を1つの前記板状部材で塞ぐように構成した請求項1又は2記載のPCカード。
5. (補正後) カバー体の所定範囲内に前記孔部を集中して形成
25 することを特徴とする請求項1記載のPCカード。
6. (補正後) 前記プリント基板の長手方向の一端に信号の伝達

が可能なコネクタを実装し、前記所定の範囲とは前記コネクタから
所定の距離

内とする請求項 1 又は 5 記載の P C カード。